

第12回日本糖尿病医療学学会 ワークショップ「医療者の戸惑いと成長の医療学」



医療者の皆さん、日々、「医療」として患者さんに「医学」を手渡していく中で、多くの「戸惑い」を経験されていないでしょうか？

本ワークショップでは、医療者の「戸惑い」について皆で考えていきます。今年は、2025年学会テーマ「チームで挑む糖尿病医療学」に合わせて、グループワークで話し合うテーマを「チーム医療を推進していく上で感じているモヤモヤ」にしました。日常の診療やケアの中で、まったくモヤモヤを感じていない人はいないだろうと思います。小さなモヤモヤから大きなモヤモヤまで、ご自身の感じているモヤモヤを持ち寄り、一緒に考えてみませんか。このワークショップに参加することによって、多職種間の交流・相互理解、自己のふり返し、自己の相対化、「問い」について考え続ける力の涵養につながればと考えています。皆様のご参加をお待ちしております。



- 日時：11月2日（日）14:30－16:00
- 場所：京都テルサ 第6会場（視聴覚研究室）
- 対象：第12回日本糖尿病医療学学会参加者
- 定員：18名（事前申込制）

※定員を超えた場合は職種の多様性を確保できるように調整させていただきます。

- ワークショップの目的：

①医療者として働く中での「モヤモヤ」の共有 ②多職種の交流

- 内容：

1. 導入

2. グループワーク：1グループ数名で、それぞれの「モヤモヤ」を話す

★テーマ：チーム医療を推進していく上で感じる「モヤモヤ」

3. まとめ

- ファシリテーター：

森崎志麻（きしメンタルクリニック）・岡崎研太郎（九州大学）

小比賀美香子（岡山大学）

- 申し込み締め切り：10月17日（金）

- 申し込み方法：

▼こちらからお申込みください。

<https://forms.gle/Ndk6Xg3ExT9VKwpE9>

